

ビジネス川柳

値上りのラーメン ネクタイにも食わせ
妻いつも 亭主休みに パート出る
(さいたま市・やつかみ男)
まだクールビズじゃなかったのね
（東京都・アナログ婆）
和平秩序安定のための知恵

投稿のお願い ★はがきで★100—8160タ刊フジ報道部「ビジネス川柳」係★住所、氏名(雅号)、職業、年齢、電話番号を明記★掲載作品には薄謝★月～金曜掲載。どしどしご応募ください。

『《水車屋の美しい娘》シューベルトとミュラーと浄化の調べ』梅津時比古著



著者は、桐朋学園大学学長を務めた音楽ジャーナリスト。「冬の旅」などと並ぶシューベルトの3大歌曲集「美しい水車小屋の娘」(詩・ミュラー)のおカタ解説書、と思って読むと良い意味で、章題に興味がない読者にとっても知的好奇心をそそられるだろう。

日本人にはじみが薄い「水車屋」という商売。簡単に言えば、川の水流の力

セックスを連想

で穀類の粉を挽く製粉業なのだが、日本のアニメで描かれるような牧歌的なイメージを想像していたら、これがどんなでもない。ドイツなどでは古来、職業「差別」の対象であり、悪魔や幽霊が好む棲家としてもおそれられたという。そんな「水車屋の娘」が「まつとう」なハズがない。水車＝エロティックなイメージ、もっといえば「女性」そのものの象徴とされ、水車屋の娘(妻)はセックスや不倫・姦通を連想させるというからオドロキではないか。欧洲文化や恐るべし。だからウロコの1冊。

春秋社・2420円(税込)

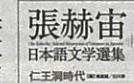
『相続専門の税理士、父の相続を担当する』 清田幸弘著

相続税の申告を6000件、相談を2万2000件超担当した経験豊富な税理士が初めて手掛けた案件——それが自分の父親の相続だった。父に税金ばかりかかる裏山の土地の処分を了解してもらうのに3年、整理に2年、売却に5年。遺言を書いてもらうのも難航するなど、プロでも苦戦する相続の現実が描かれる。一方で節税策を駆使して相続税を3割減らした具体的な内容も明らかにする。

プロでも苦戦の現実 令和2年の死亡者数は137万人。そのうち相続税の手続きをしたのは12万人で右肩上がり。相続トラブルも増えている。本書を読むと相続が決してひとことではなく、身近なものである事実に気づかされる。そして訪れた父の死。「親が亡くなつた後では相続対策はできない」「人はいつか死ぬ。でもその『いつか』は誰にもわからない」の言葉に実感がある。ドキュメントとしてもノウハウとしても読み応えのある1冊だ。

あさ出版・1650円(税込)

『張赫宙 日本語文学選集』 南富鎮・白川豊編



戦後77年、まだまだ知られていないことがある。その一つが著者の存在だ。かつては魯迅と並ぶアジアを代表する作家と称され、日本植民地期に活躍した代表的な朝鮮人日本語作家として日本人文学の嚆矢(こうし)もあり、日本人文学の嚆矢(こうし)でもあり、

知られてい

た。

世界的作家の珠玉文学

選。忘れられた世界的作家の珠玉文学

作品社・39960円(税込)

いま「世界文学」の先駆けとして再び注目を浴びている。

代表作「仁王洞時代」をはじめ、また単行本未収録の秀作、「十六夜に」

「一日」「墓参りに行く男」「山男」「アン・ヘエラ」「狂女点描」「月姫」と僕」「優秀人生」「路地」「橋の上にて」、他に「特殊な立場」を含むエッセー8編を収録。本書によって、ようやくはじめて張赫宙文学の全貌が明らかになる。

「アン・ヘエラ」「狂女点描」「月姫」と僕」「優秀人生」「路地」「橋の上にて」、他に「特殊な立場」を含むエッセー8編を収録。本書によって、ようやくはじめて張赫宙文学の全貌が明らかになる。